

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-083
補助事業名 平成26年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 宮城厚生協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

胸部X線検診車を更新し良質な画像による診断精度の向上を図り、疾病の早期発見に寄与する。効率的で質の高い健診を行うことにより、健診受診率を高め、働く人々や地域住民の健康の保持増進に寄与する。

(2) 実施内容

胸部X線デジタル検診車 (<http://www.m-kousei.com/network/offices/#pane3>)





2 予想される事業実施効果

- ・最新鋭の装置の導入により被ばく量が低減し受診者の放射線に対する不安を軽減することができる。画像においては解像度が高くなり診断能力が向上し疾病の早期発見を現在以上に図っていくことができる。
- ・車体が低くなり高齢者や障害を持った方への負担が軽減さ、安全で利用しやすい環境をつくることができる。

3 本事業に係る印刷物等

当法人機関紙「協会だより」2015年3月号に掲載

(<http://www.m-kousei.com/media/files/kk/pdf/letter/330.pdf>)

「厚生協会だより」

健診センターの現状と 待望の健診車更新について

健診センター長 医師 佐藤 佳樹



健診センターは震災で被災し、3年ほど泉病院に簡借りをしていましたが、2014年9月に長町病院内に戻りました。健診の診察などは新病院で行い、事務室は北棟(旧長町病院)の地下にあります。

長年頑張ってくれた健診車

今年、2015年3月2日に待望の健診車が更新されました。前のバスは19年あまり

雨の日も風の日も頑張ってくれましたが、各部に錆が出たり、電気関係の故障が発生したり、レントゲンの画像が不安定だったり、ここ数年は心配な状況が続きました。

健診車は何千万円ものので、なかなか更新できなかったのですが、今回、公益財団法人JKAの公益事業振興補助事業から補助金を受ける事ができ更新することができました。

ほぼ希望どおりの機能満たす車両

今回の健診車は、ほぼ希望どおりの機能を満たす車両となり、雪の日でも安心して出張健診に向かえるようになりました。レントゲン撮影装置も最新鋭のものに更新されたことにより被曝量の減少と画像の改善を図ることができました。

また、車高も低くなり高齢者や障害のある方にも乗り降りしやすくなりました。エアコンも以前は効果が弱く調節困難でしたが強力な機器になり、エンジン、安定した高速道路ターボア駆動し、座席にもが付いて石巻に出す。

健診車更新

今回更新に活用てまいり健診車はつ車場にあときにで

この健業の手續員や業者だき良いができてま

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人宮城厚生協会 (コウキザイダンホウジン ミヤギコウセイキョウカイ)

住 所： 〒985-0835

宮城県多賀城市下馬二丁目13番7号

代 表 者： 理事長 今田 隆一 (リョウチョウ コウダリウイチ)

担 当 部 署： (公財) 宮城厚生協会健診センター (ミヤギコウセイキョウカイ ケンシンセンター)

担 当 者 名： 事務部長 日比野 恵子 (ヒビノ ケイコ)

電 話 番 号： 022-746-8303

F A X： 022-746-8262

E - m a i l： hibino@zmkk.org

U R L： <http://www.m-kousei.com/>